

道路通信 3

環状通沿道の皆様、札幌市民の皆様へ

環状通の整備計画は、札幌市の都市計画でありますので、札幌市がどのような街づくりをするのが良いのかという視点で、環状通の整備計画について考えて下さい。

この整備計画は、札幌市の都市計画事業です。

都市計画上での環状通は、「3・2・10 環状通」という名称で、表されます。

「3・2・10 環状通」だから、全て6車線に整備するという説明だったと、思います。

説明会（平成24年5月11日、柏中学校体育館）では、この 3・2・10 の数字の意味するところについての説明は、ありませんでした。

3・2・10 の意味を、知っていますか。

札幌市都市計画図（市役所の2階で、購入できます。）の、裏面に記載されています。

3 は、幹線街路（街路とは、都市計画区域内の道路のことを、街路と呼ぶそうです。）

2 は、幅員（道路の幅） 30メートル以上40メートル未満 のもの

10は、一連番号

ということです。

また、「3・2・10 環状通」の幅員は、36mとなっています。

ここ南19条は、現状幅員20mであり、拡幅した状態で、27mです。

ですから、30メートル以上40メートル未満でもありませんし、36mでもありません。

「3・2（幅員30m以上40m未満）・10 環状通」だから、全て6車線ということになるのであって、ここ南19条は、拡幅した状態で27mであるので、無理があると思います。

環状通と言っても、その地域や場所で条件が異なっているのですから、車線数もそれぞれの状況に合わせて、きめ細かく決められるべきでは、ないでしょうか。

また、「3・2（幅員30m以上40m未満）・10 環状通」と、言った時の数字の意味するところと、ここ南19条の状況（拡幅した状態で27m）とは、違っているのですから、説明会では、その違いをはっきりと明示し、その違いがあるにもかかわらず、6車線にしなければならない理由を、具体的な数字を示して説明しなければ、ならないと思います。

その説明なしに、事業を進めることは、納得できません。

平成 24 年 5 月 11 日の説明会では、この環状通の道路幅の矛盾についての説明は、ありませんでした。

説明会とは、このようなことを、わかるように説明することでは、ないのでしょうか。

ただ、3・2・10 環状通と、言われても、それが示す道路の規模について、私たち住民は、わかりませんし、まして、ここ南 19 条は、その名称で言われても実際の道路規模は違っている訳（ここは、拡幅した状態で 27 m で、数字の 2 に示す意味の 30 m 以上 40 m 未満の幅を満たしてはいません）ですので、おかしいと思います。

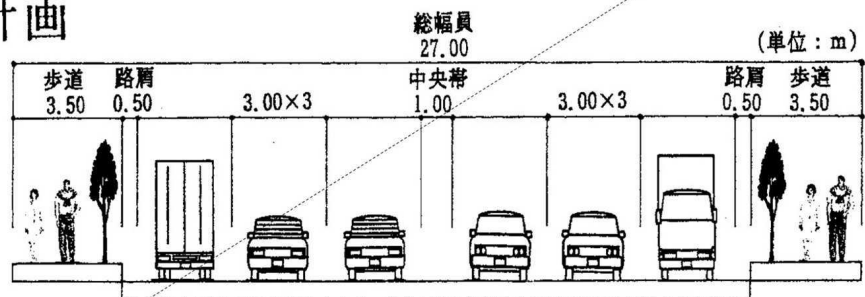
おかしいことに対して、声を上げることは、市民の務めです。

幅員 27 m の道路なら、要望案の道路が、標準的な形です。道路構造令の標準幅員（昭和 50 年の通達）を、見ても明らかです。

このまま、整備計画が、進んでいくことは、おかしいと思います。そう思いませんか。

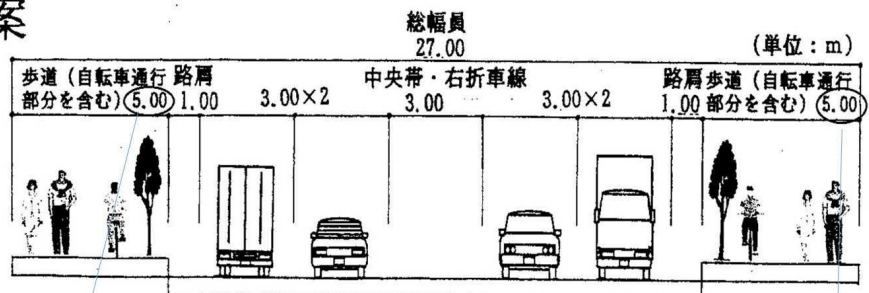
整備計画

札幌市
整備計画
6 車線
春夏秋



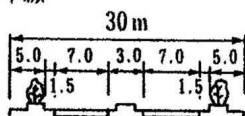
要望案

道路を考える会提案
5 車線
春夏秋

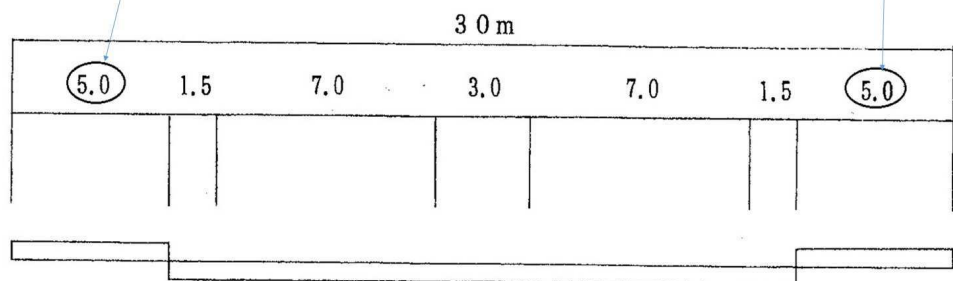


道路の標準幅員に関する
基準 (案) について」

昭和 50 年 7 月 15 日
都市計画課長・企画課長通達
4 車線



縮尺をあわせて図式化



道路を考える会